

和田Qの完勝!! やつぱりプロはスゴイ

ミッドにハイパワーエンジンを搭載するチューンドNA1。この手のマシンとなればやはりプロドライバーが有利なのかもしれない。片岡サンは「そりゃ和田サンが勝つでしょ。以前レースに出てる人がこのNA1に乗ったら、タイヤがタレていたにモカかわらぬとも簡単に私のベストタイムを更新しましたからね。だから今日は、和田サンが何秒を出すのかが楽しみですワ」と言っ。決して勝負を捨てているわけではない。乗れる人が乗ればタイムが出るクルマに仕上がっていることを、オーナーが一番よく分かっているからだ。

まずは片岡サンからタイムアタック。無難に周回を重ねたものの「フロントタイヤが暖まらないのでえらいアツい。たぶんベストタイムは無理やろ。う〜んあと、2〜3周くらい走らせてくれたら、もう少しタイムを縮められたかも」と不完全燃焼気味、しかしタイムはベストを上回る1分45秒593計測している。このタイムを聞いた和田Qに余裕の表情が浮かんだ。入念にウォームアップしてコーナーへ突っ込んでいく。そのスピードは明らかに片岡サンより速い。そして遠くからはチューンドNAならではのカン高いEXノーツが轟いてくる。綺麗な姿勢で最終コーナーを立ち上がり、計測されたタイムは1分42秒153、片岡サンも素直にその速さを認めた…。

チューニングポイント

数あるチューンドNSXの中においても、ここまで手が加えられたマシンはちょっと見当らない。特にエンジンは内部までモデファイされてボルシェ用の6連スロットルバルブが奢らる。350psと控えめなスペックながらも、レース一な走りを可能にしてくれるのだ



1. スプーンのEXマニにカキモトのW出しマフラーで排気系を充実させる
2. エンジン本体まで手が加えられボルシェ用の6連スロットルバルブが装備される。そして、FコンVプロによってコントロールされるのだ
3. ルーフからエアを導くこのサージタンクは、なんとオーナーの自作によるもの
4. タイヤはD01Jを装備するがフロントが暖まらずハイグリップを発揮することができなかった。残念
5. インテリアはこれといって軽量化されていない
6. スポイラー類はマルカヒルズのカーボン製がセットされる。自社ステッカーがシブイッ



和田Qタイム 1分42秒153!

TIサーキット英田
NA限定FR
NA1
片岡弘満



片岡タイム
1分45秒593
片岡弘満残念!

